

東京の夢は夜ひらく

はとバスの夜コースは、昭和26年4月1日に運行開始されました。18時に新橋駅をスタートし、夜景を眺めながら都心をドライブ。歌舞伎座とフロリダ・ダンスホールに下車するコースでした。夜景はまだまだ寂しい状況でしたが、地方からのお客さまは、銀座のネオンに、復興の進む様子を感じ取り、感無量だったそうです。(もはや戦後ではない)を合言葉

に、全国民が復興に邁進し、東京オリンピックを経て、1980年代後半に愈々バブルに突入。そんな日本の一番熱い時代の東京の夜を、夜ガイドとして(ときめきやハプニングに揺れ動く乙女)ところを、制服につつまはとバスで駆け抜けた皆さんの、今だから話せる貴重な体験を、大いに語っていただきました。

※以降は座談会参加の皆さんのお話を、編集し纏めました。



▲昭和40年代 銀座



▲昭和26年 夜コースガイド夏服(一番右) 撮影は昭和43年

夜ガイドさんになった動機を教えてください

●私は昼ガイドをしていましたが、夜ガイドさんの落ち着いた雰囲気憧れ、夜ガイドに移りました。

●きらびやかな東京の夜に憧れ、自分もご案内したかった

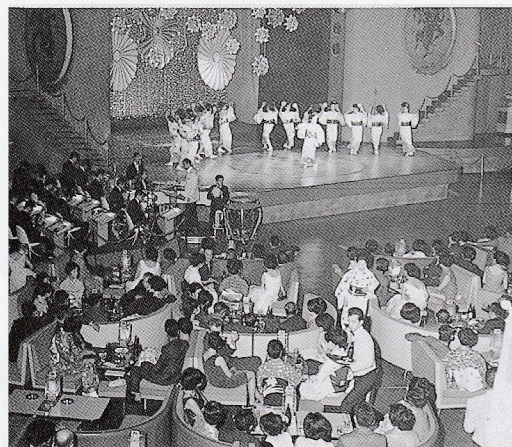
●夕方からの出勤なので、それまでの時間を有効に使え良いと思いました。大学生のバイトの方もそれが気に入って、そのまま正社員になった方も多いですね

夜のお仕事と聞いて、未成年の方は親御さんが心配しませんでしたか？

●父親は真面目な堅い商売の人でしたが、(はとバスがやっているコースだから心配ない、頑張つてやってこい)と言ってくれました。ただ、刺激の強いショーのお店のことは、内緒にしましたね。

バブル真っ最中!!
ハプニングがいっぱい

日本中が湧きかえり、都心は連日大渋滞、そんな中でも特に混み合う、新宿六本木を中心に、最大二晩に50台の夜のコースを運行した、はとバス。どうしよう!!ショーに間に合わない、はぐれたお客さまが、帰ってこない!!早く連絡しなければ、と言っても携帯の無い時代。ハプニングが連発だったようです。



▲ミカド

●今思えば、六本木通りや靖国通りでバスから降り、雑踏の中を徒歩誘導し、またバスとドッキングする、なんてよく出来たものです。もちろん携帯など無いから、ポケベルで連絡してね。夜のおしゃれな雰囲気を壊さないため、誘導旗を持たないのも、夜ガイドのプライドでした。でもあの時代は、これが当たり前前と思っただけ出来たのかも。今思えば、ゾッとします。

●新宿の風林会館からお客さまと出てきたら、パトカーが数えきれないほどいて、警官がとんで来んです。「今発砲事件があり、犯人が逃走中です。私が誘導するから絶対に離れないで」と言われ、非常線の張られた中をバスまで移動。まさしく(夜の大走査線状態)でした。

●夜のお江戸コース

ヤッパリ思い出は、今話題の吉原・松葉屋で花魁ショーを見るコースですね。ショーは、はとバ



▲昭和27年～ 松葉屋おいらんショー